

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月22日更新

事務事業名		九州中央地域連携推進協議会参画事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1 自治の健康				所属部	市長公室	課長名	松田 勝
	施策	2 行政改革の推進				所属課	企画課	担当者名	渡邊 光
	施策の柱	5 広聴・広報機能の充実				所属班	企画広報班	(内線)	1257
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 9	事業連番 11530	根拠法令	九州中央地域連携推進協議会規約	
終了、開始年度		☐ 2年度で終了 ☐ 2年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	九州中央地域(熊本・大分・宮崎県)の自立的で多様性に富んだ地域社会の実現に向けて、市町村の連携強化と交流拡大による広域的で一体的な交流圏域の構築、地域特性を活かした一体的な振興整備を行うことを目的に平成9年8月1日に組織された「九州中央地域連携推進協議会」(通称：九州中央77)に参画している。本協議会は、当初77市町村で発足、構成市町村の連携強化と交流拡大事業の推進に取り組み、定着してきたところであるが、市町村合併の進展により現在は、36市町村での構成となっている。〔熊本県：熊本市、宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、美里町、大津町、菊陽町、南小国町、小国町、産山村、高森町、西原村、南阿蘇村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町の19市町村〕、〔大分県：大分市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市の7市〕、〔宮崎県：延岡市、日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町の9市町村〕、及び推進協議会の趣旨に賛同する機関から顧問・参与(総務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、日本郵政公社、各県など)が参加している。
【業務の流れ】	・総会及び講演会、地域づくりに関する交流研修会、会議へ参加する。 ・推進協議会が取り組む事業として、「九州中央77スタンプラリー」事業があり、市の物産・主要施設を紹介、来訪を促進する。 ・構成市町村は、スタンプラリーのスタンプ設置箇所の選定、承諾確認、スタンプラリー用品の配置、特産品当選者への賞品発送(各市町村1名分ずつ分担)を行う。※合志市のスタンプ設置場所(合志マンガミュージアム、農業公園カントリーパーク物産館)
【主な予算費目】	需用費(九州77スタンプラリーリーフレット代)、負担金補助及び交付金(市町村負担金)
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)		3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
九州中央地域連携推進協議会に参画し九州中央77スタンプラリーを実施することにより、九州中央圏域団体との観光や物産交流を図るもの。令和2年度のスタンプラリーの実施期間については、新型コロナウイルスの影響により令和3年3月から令和3年6月となった。		総会・交流研修会・会議への参加、九州77スタンプラリーの参画・実施
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 総会、交流研修会、会議回数	回	
→ イ スタンプラリーの設置数	箇所	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
スタンプラリー参加者	→ ア スタンプラリー応募総数	件
	→ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
合志市(合志マンガミュージアム、農業公園)に来訪してもらう。	→ ア 合志市のスタンプを押した応募件数	件
	→ イ	
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
合志市に来訪していただくという意図で本市でスタンプを押した応募件数としている。参画事業として、業務の変化が少ないため例年どおりの件数を指標としている。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込
① 活動指標	ア 回		2	1	2	0	2	2	2	2
	イ 箇所		2	2	2	2	2	2	2	2
② 対象指標	ア 件		1,639	1,891	2,000	18	2,000	2,000	2,000	2,000
	イ									
③ 成果指標	ア 件		50	17	100	0	100	100	100	100
	イ									
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	80	80	80	80	130	80	80
	(A) 事業費計		千円	80	80	80	80	130	80	80
		(A)のうち指定経費	千円	30	30	30	30	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
			千円							
人件 費	正 規 職 員 従 事 人 数		人	1	2	2	0	2	0	0
		延べ業務時間	時間	50	30	84	0	84	0	0
	(B) 人件費計		千円	197	118	334	0	334	0	0
トータルコスト(A)+(B)			千円	277	198	414	80	414	80	80

合志市

事務事業名	九州中央地域連携推進協議会参画事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	-------------------	-----	------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 2年度の後評価、ただし複数年度事業は 2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 新型コロナの影響でスタンプラリーの開催延期となった。R3.3開始となったものの目標値には届かなかったもの。
	② 3年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 合志市の魅力をアピールするためのリーフレット校正を行い、また、イベント情報を掲載し参加者の増加を図る。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 連携協議会がめざす九州中央地域の横断軸連携の背景には、中九州横断道路建設促進の期成も視野に入れてあり、この参画事業のさらなる活性化によって、人・物の動きを円滑にするための手段（道路）を求める声が盛り上がる可能性もある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 現時点では、この参画事業以外に、県境を越えた市町村の広域な連携体制はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 この参画事業による構成市町村の経費負担は、連携協議会の事業活動を行ううえで最小限の負担としており、削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事務を行っているため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 公平な情報提供を図っており公平・公正である。今後は広報誌やHP等で周知を図っていく。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 九州中央地域連携推進協議会規約により構成されており、圏域の地域振興及び各種交流事業を行っており自治体が行う事業である。

3 評価結果の総括（CHECK）

本事業の目的である圏域の特色ある自然、歴史、文化等の多彩な地域資源を活かした構成市町村との連携や交流ネットワーク基盤の整備、圏域間のアクセス強化を図るため、例年、構成市町村によるスタンプラリー（各地特産物が景品）を実施しているが、合志市への来訪者数が少ないため、毎年実施している市民祭り等で合志市の魅力を市内外に発信し改善を図りたい。
--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												